

なでしこ通信

【院外情報誌】

第124号 (平成29年8月号)

発行：鳥取県済生会境港総合病院広報委員会

発行責任者：病院長 村脇 義和

所在地：〒684-8555 境港市米川町44番地

電話番号：0859-42-3161 (代表)

ホームページ：http://www.sakaiminato-saiseikai.jp



院是 (当院の基本理念)

あかり
病む人に光をともしより良い医療をめざして

わけんあいご
さりげない気くばりと和顔愛語で心暖まる病院を
築きあげよう

当院の基本方針

私たちは

1. 済生の精神に基づき、地域の保健・医療・福祉を支えます。
2. 患者さまや家族の皆さまに暖かく安全で良質な医療を提供します。
3. 地域中核病院として救急及び先進医療の提供に努めます。
4. 地域とのつながりを大切にし、他の医療機関・福祉施設との連携に努めます。
5. 情報の開示・説明により信頼される医療を目指します。

脳卒中後の手足のつぱり、改善できます！

脳梗塞や脳出血のあと手足がこわばって、こんな症状でお困りではありませんか？

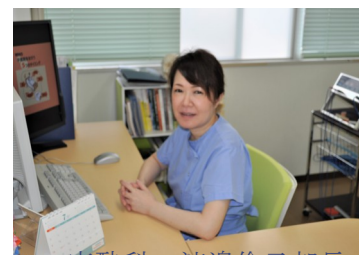
- ・肘や手首が曲がったままで着替えが大変
- ・手がグーにこわばって手のひらに爪がくいこむ
- ・つま先が下がったままで歩きにくい
- ・足が内股になっていてオムツ交換しにくい。

それらを改善する治療法があります。ボトックス注射療法というものです。ボトックスは、ボツリヌス菌の産生する毒素です。この毒は、神経から筋肉に“動け”の命令を伝達する部位を塞いでしまう毒です。全身に回れば動けなくなるし息も出来なくなりますが、こわばった筋肉にだけ注射するとそこだけこわばりを和らげることが出来ます。手首や指の曲がりや緩むと、着替えが楽になり爪が手のひらに食い込んで痛いのも無くなります。足の突っ張りがとれると、歩きやすくなったり介護する方もオムツ交換や体拭きが楽になります。

【ボトックス注射 施行前】



【ボトックス注射 施行後】



麻酔科 渡邊倫子部長

治療に関するお問い合わせは当院麻酔科まで。

麻酔科部長 渡邊 倫子



皆様の声5月分

ご意見等

本日92日間の入院生活が終わり退院します。先生方、看護師の方、リハビリの方等多くの方々に大変お世話になりました。その方々も明るく誠意ある対応をしていただき感謝しております。主治医の先生、夕方の時間帯の病室への様子見、レントゲン等の当日の結果報告、安心しました。「おれが治してやる。」という先生の熱意を感じました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

通院リハビリもまだありますが、宜しく願います。

回答

スタッフに対しお褒めの言葉を頂きありがとうございます。患者様からのこのようなお言葉が何よりの励みになります。今後もスタッフ一同患者様に安心して治療を受けていただけるよう精進してまいります。

(病院長)



ご意見等

5/23に嚥下機能の診察を受けました。言語聴覚士さんの嚥下評価はとっても丁寧で親切にしてくださいましたが、栄養士さんの栄養指導がとてもしっかりと時間が経った割に内容が空っぽで、心身ともに大変疲れてしまいました。事前に書いた食事内容の書類にも目を通さず、カタログを広げては「飽きないようにいろんな味を」と少なくとも10回以上は繰り返されましたが、私はそんなに物覚えが悪そうに見えたのでしょうか。10時半の予約だったのですが、お昼のチャイムが鳴っても終わらないのはさすがにおかしいと思います。先生も怒ってましたよね。午後から別の科が診察室を使うのによって。話の終わり頃や診察室への移動中に質問されても困ります。その質問は最初にするべきでは？診察が終わってからも、先生が「先に会計にファイルを渡してから話してください。」と言っていたのに、廊下で話されましたが、長時間の指導で、私たちも疲れ切っていたんですが、長々と話されました。正直あの栄養指導は全くためにならなかったと思います。指導相手の様子を観察したり、指導内容がスムーズか、確認しないんですか。もっと客観性が必要だと思います。指導室に時計もないのもいけないのでは。指導相手をいろんな年齢の人としてシュミレーションしたり、それをビデオに録画して反省会でもしてください。

回答

当方の不手際により不快な思いをされたこと、お詫び申し上げます。

栄養サポート外来は午前9時30分から約90分間を設定しております。受付を確認後、通常とは異なり、診察室を経ないでリハビリテーション科から開始するといった対応を取ってはいたのですが、結果的に長時間の拘束となってしまいました。患者様、ご家族様の疲労の様子が窺えましたので、当日、終了後に、各部署の時間配分、資料の受け渡しや結果の申し送り方法などについて見直しを行いました。今回のご意見の内容から、来院時刻の案内についても改めて、検討することと致しました。なお、栄養指導室には、どの席からも確認できる壁掛け時計は設置しております。

指導内容については、十分な準備と連携を行い、担当する領域を明確にして、ご要望に添った的確でかつ簡潔なものとなるよう努めます。

貴重なご指摘をありがとうございました。

(栄養管理室主任医師)



ご意見等

ここの病院の看護はどのような教育がされていますか。他の病院に比べ、あまりにも質が低く感じます。備品の不足も思います。

回答

ご意見をいただきありがとうございます。看護の教育に関しましては、昨年度から専従の教育担当者を配置し、教育プログラム等を見直し、質の向上を目指し取り組んでおります。

備品に関しましては、より良いサービスの提供のために充足するよう努めてまいりたいと考えておりますので、お気づきの物品等ありましたら、ご遠慮なくご意見をいただければと思っております。

(看護部長)

ご意見等

今回の入院で思ったことを書きます。皆様大変良くしていただき、ありがとうございました。無事退院できほっとしています。次回もありそうなので直してもらいたいです。

ある見舞い客が一言「さすが境港、病院も魚屋みたいやね。」と馬鹿にされました。玄関から病院までの行きと帰り、洗濯室前が非常に騒々しかったそうで、とても病院内とは思えなかったそうです。私も日頃からそう思っていました。ある日、とても静かな時があり、チラ見したら、別の方が働いていて、あっ、静かに仕事もできるんだと思いました。ある職員さんに聞いたら、自分達もわかっているけど仕事に支障がでるから言えないとのこと。これは誰かに迷惑かけたくないから張り出してもらわなくてもいいですけど、自分自身をコントロールできない方は、配置換えなどあってもいいのではないのでしょうか。

回答

不快感を与えましたことをお詫び申し上げます。担当者に対し、ご指摘いただきましたことを踏まえ、指導いたしました。今後、皆様に不快な思いを与えないよう、しっかりした勤務態度で業務を行うよう努めてまいります。

(総務課長)



ご意見等

採血室の看護師の対応がなっていない。患者さんが途切れているとき、足を組んで椅子に腰かけている姿勢がだらしない。

朝食時間の尋ね方が完全に上から目線。「朝ご飯何時？」→「食べていない、飲み物だけ。」「何飲んだ？」→「8時です。」「だけん何を飲んだか聞いているの。」「コーヒー。」「コーヒーはブラック？」→「いいえ。」

「何入れたの？砂糖？」→「砂糖です。」高齢者に話すときは、ゆっくりと大きな声で話しかけてほしいです。

回答

看護師の対応で不快感を与えましたことをお詫び申し上げます。患者様への言葉遣いや態度など、該当職員を含め再度全職員に接遇力の向上のための研修を行い、実践につなげていけるよう努めてまいります。

(看護部長)



ご意見等

何度もお願いしていますが、トイレに手洗いの後の使い捨て手拭きか何か設置してください。せっかく手洗いしてもハンドバックの中をさぐってハンカチを出すのが面倒です。

検尿のトイレに洋式(女)をお願いします。座ると今度立ち上がるのが大変です。何度もお願いしています。ぜひご考慮ください。

回答

ご不便をお掛けしておりますことをお詫び申し上げます。トイレへのペーパータオル又はエアドライヤーの設置に関しまして、ご意見をしっかりと受けとめ前向きに検討してまいります。

また、洋式トイレに関しましても、今年度設置予定としておりますので、今しばらくお時間をいただきますようお願い申し上げます。

(事務部長)

貴重なご意見ありがとうございました。





地域医療連携室講演会を開催しました

さる、6月22日地域医療連携室講演会を開催しました。「生活習慣病になっていませんか？—特定・長寿健診を中心に—」という演題で、健診センター藤井容子先生が講演されました。



特定健診・長寿健診の検査内容からはじまり、生活習慣病とは、要介護にならないために健康寿命を延ばすには何をすればよいかなど、健診の重要性をたっぷりと、ゆったりとした口調で丁寧に話され、会場はなごやかな雰囲気になりました。質疑応答にもやさしく対応されていました。

最後に、境港市福祉保健部健康推進課の保健師さんより、境港市の健診の現況や8月からはじまる境港市の各種健診について説明がありました。

講演会終了後も藤井先生に質問される光景が見うけられました。

地域医療連携室講演会のご案内

日時：平成29年8月21日（月） **10:00~11:00**

場所：済生会病院2階会議室

内容：「あなたの命を守ります！麻酔科ってどんな科？」

麻酔科部長 渡邊 倫子



予約はいりません。お気軽にお越しください。

問合せ先：地域医療連携室 0859-42-3161（代）



当院の医療・福祉相談について

当院では、ソーシャルワーカー（社会福祉士）が医療、保健、健康などさまざまな相談に応じています。

*無料低額診療事業として、医療費の相談にのっています。

場所 1階地域医療連携室
3階地域医療連携室（3階西病棟）
時間 月～金曜日 8時30分～17時

*事前に電話で面接日時をご連絡ください。

TEL 0859-42-3161（代表）
0859-42-5805（直通）



- 医療費相談
- 介護保険
- 自宅での介護
- 社会保障制度
- 介護施設利用
- 退院後の不安